

# きこち。

*Yamane-mokuzai quarterly magazine 'Kicocochi' 2019 / Autumn*

特集  
集まる家族と

椎茸と





仏間からLDKへ続く広間。先祖が見守る中、2人暮らしの家に親族が集まり賑わう



椎茸栽培のハウス。上にかかっているのは、雨を取り込み陽光の70%を遮るネット



自宅から歩いて5分ほどのところにある椎茸ハウス



ご主人が近くの田畠で作っているのは野菜や米、柿、そしてジャンボ椎茸。春と秋には手のひらサイズで肉厚の椎茸が収穫されるという。

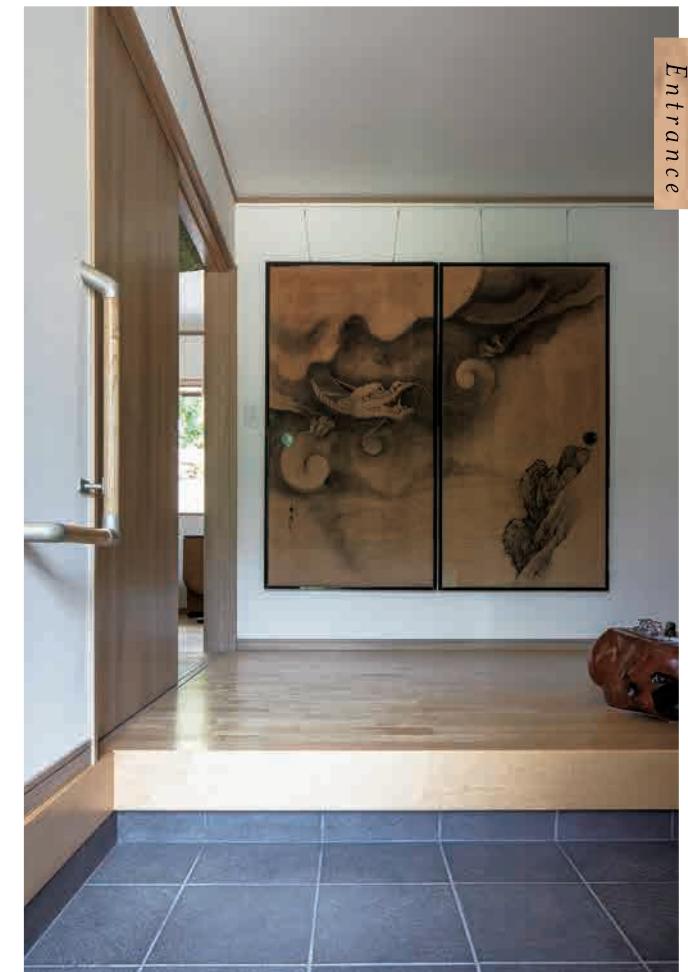
この地域は椎茸栽培に適しており、そのしつかりとした食べ応えと香りがご主人の自慢。寒暖差のある安芸高田市の恵まれた自然環境が作った、豊かな味わいと言つていいだろう。外気にさらした干し椎茸も絶品だ。



2階の客間には建て替える前の家の絵が飾られている



キッチンの収納棚は、あえて使いやすいようオープンに



玄関で出迎える襖絵の龍は、どこか愛嬌のある優しい表情

玄関を上がるとき龍の絵が出迎える。これは実は襖絵。ご主人が誕生したとき、名付け親になってくれた人が描いた絵だという。

建て替える前は仏間に襖を使って、その関わりを大切にするご主人の柄がうかがえる。

ご夫婦は2人暮らし。正月、春休み、ゴールデンウイーク、夏休み、秋祭りなど年に何度か親族が集まる。みんなで料理をして味わい、くつろいで語り合う、人の集まる家である。

Entrance

甥や姪、その子どもたちなど、時には総勢17名が集まる。仏間や2階など宿泊できる部屋を用意し、みんなで料理ができるようキッチンも広くした。庭や周囲の山は子どもたちの格好の遊び場に。ご夫婦はいつでもみんなを迎えて入れ、くつろげる空間を保っている。

この地域は雪が深いため、屋根には雪止めも取り付けた。椎茸の出荷のピークを過ぎると秋も終わり。安芸高田市は少しずつ冬仕度が始まる。

甥や姪、その子どもたちなど、時には総勢17名が集まる。仏間や2階など宿泊できる部屋を用意し、みんなで料理ができるようキッチンも広くした。庭や周囲の山は子どもたちの格好の遊び場に。ご夫婦はいつでもみんなを迎えて入れ、くつろげる空間を保っている。



## 四季折々 暮らしの工夫



ご夫婦は普段は1階だけで暮らしている。家の周囲には農作業場や納屋、そしてピザ窯も持つ